

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		MORE中間校		公表日 R8年 4月 13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	その日の人数にや活動によってはパーテーションを使用するなど柔軟な対応をしている。	人数によっては多く部屋が狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		職員の配置数は適切であるが活動内容によっては配置数が必要なときがある。手厚く配置出来ていると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	建物の構造上できないところは職員のアイデアでカバーしながら配慮している。療育の部屋・放デイの部屋という環境を作り児童に定着した。	建物が古く、すいぼりが刺さったり床のマットがずれ転倒に繋がる可能性がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	児童が扱う物はこまめに消毒などを行っていたり、毎日の掃除は行き届いていると思う。掃除は毎日かかさず行っている。	児童目線に合わせた収納が必要だと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		児童によっては個別に対応するときなどはパーテーションや別室を使用できる環境だと思う。トラブルが起きそうなときは別室対応をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2		改善すべく様々な取り組みを行っているがまだ定着が難しいと感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		評価表に限らず保護者と話をする時間を設け、ニーズを知る機会を作ることが必要だと思う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	常に意見しやすい環境であり、職員の様々な意見を聞くことができる。朝礼にて前日の振り返りを行い改善策をみんなで思案している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3	アプリを使った研修では時間があるときに見ることができている。他スタッフが行く研修内容も共有してもらっている。個別でも興味のある研修に参加している。	必要な研修は確保されているがもっと機会が用意されると良いと思う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		モニタリング会議を行い、児童の課題や必要な支援について計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	常に話し合いの場があり全職員が共通理解の下で支援が行われている。モニタリング会議で意見を聞いている。皆で支援内容について共通意識を持つようになっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	計画書に基づいて療育内容を考え、職員間で共有している。	共有できていないと感じるため今後は朝礼などで提示し説明する。支援計画への理解が職員によってばらつきがありもっと共有されても良いと感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		アセスメントをしっかりとっていく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		気になる点や支援方法の変更があると声掛けがあり共通理解ができ、そのうえで支援することができる。しっかりと発言ができる雰囲気、場がある。家族支援、地域支援など関係者との情報共有も心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		案を1人ずつ考えている。毎月の活動案を皆で考え、ねらいについても明確にしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		偏らないように気を付けている。毎月代わり映えした内容を組み立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	児童の状況に応じて適切に支援が行われている。個別療育にも取り組んでいる。	個別活動は時間や職員の配置により難しいときがある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	朝礼時に児童の支援方法や状況を話し合い、共通理解ができている。ホワイトボードに“放”“児”と役割分担を書いている。活動計画書の共有で内容把握している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	3	5	1日の終わりに職員が気づいた点などを話すことはできている。送迎の関係で間に合わない場合もある。打合せはできていないが気付いた点は共有している。	終礼の時間を設けてその日の振り返りを行っていくべきだと思う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		個々の記録の inputs、改善策について職員間で思案している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		職員が意見を伝えられる雰囲気、場もあり、全員で必要性を判断できる。全児童に対してモニタリングは実施できている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		それぞれの領域が2つは入るような活動内容を取りいれている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		「自己選択」ができるような声掛け、場所作りを意識している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	定期的に状況などを聞き、連携することができている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		ほとんどの職員が迅速に事業所へ連絡等ができ、対応することができている。電話でのやりとりを行っており情報共有に務めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	該当事例なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		必要な研修は確保されているがもっと機会が用意されると良いと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		地域交流は今後増やしていく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		事業所へ保護者から連絡があった際や送迎時に保護者と話した内容を共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	家族から相談があった場合や家族支援を行ったほうが良いと判断した場合は行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		分かりやすく丁寧に説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者とは電話や送迎時にコミュニケーションを深めるように心がけている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		説明時には指をさしながら行っている。必ず対面にて説明をしている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談があったときには迅速に対応し、個室などでプライベートな空間を確保して対応している。来所していただいて時間を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	年1回だが開催している。児童同士や保護者同士で交流できていた。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		困りごと、苦情があった場合は責任者や管理者への報告・保護者に対しても迅速な対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎日SNSの更新を心がけており他者が見ても分かりやすい、見やすいように配慮して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付き棚へ保管を徹底している。持ち帰り禁止し、個人情報が載っている紙類を破棄する場合はシュレッダーを使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		できるだけわかりやすい丁寧な言葉、誤解のない文章を心がけている。紙に書く、視覚教材を使うなど配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3		マニュアルがあるが周囲できていないため周知していく必要あり。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	定期的な避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	支援ファイルの周知、薬などが変更になれば処方箋のコピーを取り確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	食育などで使用したい材料があればその都度、保護者へ確認を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットが出た際には全職員で周知、共有を行っている。些細なことでも記入するように心がけている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		言葉遣いなど気になったときには注意をしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1			